

職能科通信 30号

2015年9月発行

職能科通信

検索

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2575

就職活動の基本の確認！～職業準備プログラム～

職能科では、毎年「職業準備プログラム」という、主に新規就労を希望される方に向けたプログラムを実施しています。今年度は下記のような内容（表1）で実施したほか、7月初旬にはハローワーク厚木、専門援助部門の能沢統括職業指導官にお越しいただき、「ハローワークの役割と就職活動の実際」というテーマで講話をしていただきました。

（表1）～平成27年度実施内容～

回	職業準備プログラム	実施日
1	職業準備学習オリエンテーション 就職について（企業が求める人材） ビジネススキルについて	7/10
2	ハローワーク説明（求職登録の方法） 求人票の見方	7/17
3	履歴書・職務経歴書・私のプロフィールの書き方 ～ポイントの説明	7/24
4	面接の受け方（1）模擬面接含む	7/29
5	面接の受け方（2）模擬面接含む	8/7
補	職場でのコミュニケーション	別途企画



写真1
シートを使用して
振り返り

職業準備プログラムでは、就職活動の基本を身につけていただくことを目的としています。新規就労を希望する方の中には、就労経験のない方、受障後退職した方など様々な立場の方がいらっしゃいますが、このプログラムを通してビジネスマナーの基本やハローワークの役割、履歴書の書き方など改めて確認し、新たな発見をされる方も多くいらっしゃいます。たとえば、敬語などの言葉遣いや、身だしなみ、お辞儀の基本マナーなど…ビジネスマナーは社会人を経験した方でも、なんとなく知っているようで知らないことや曖昧なことが多く、これまでのご自身のビジネススキル（マナー）について振り返る良い機会にもなっているようです。（写真1）

この職業準備プログラムは毎年1回行っていますが、この時期以外も職能科では新規就労に向けての支援を行っています。その内容は、就職活動の基本の確認以外にも、自身の強みや配慮が必要な点への認識、仕事に必要なスキル（事務能力・PC操作技能や対人技能等）向上への支援などがありますが、お一人お一人に合わせた就労支援ができるよう、今後も内容の充実を図りたいと思います。（植西 佑香里）

平成27年度就労支援の実績

職場内リハビリテーション実施人数	
2015年4月～7月の累計	10名

就職・復職者の人数		
2015年4月～7月の累計	新規就労	4名
	復職	8名

七沢学園就労移行支援事業・訓練の様子

七沢学園就労移行支援事業の訓練の様子をご紹介します。七沢学園では4月から新しい訓練が始まりました。七沢療育園でのシーツ交換や下駄箱掃除、調整池の外掃除などです。これらの訓練を通して就労へのイメージづくりや、作業耐久性の向上などを図っていきます。

また、農芸作業にも取り組んでいます。先日はじゃがいもを収穫・販売しました。収穫は灼熱の太陽が背中に照り付ける中で行い、皆様汗だくに。収穫したじゃがいもの種類はメークイン(写真2)、男爵、赤いも(写真3)の三種です。出荷手順は砂を落としてから大、小に分け、段ボールに入れ、袋に大きさを見ながら詰めていきます。値札と小さな広告を貼り、出荷準備完了です。(写真4)準備ができれば病院内と学園内を販売しに回ります。利用者の皆様、最初は緊張されていたようですが、すぐに大きな声で「いかがですか!」と積極的に声を出されていました。販売では接客、金銭のやりとりを学びます。お金を受け取り、レシートの代わりに値札の半券を渡すといった手順までしっかり確認します。やはり買って頂けると嬉しく「やった!売れた」と笑顔で話す方もいて、達成感を感じていらっしゃる様子です。今後の収穫予定(玉ねぎ)もあり、今回の経験をもとにさらにステップアップを目指します。(川原田 央)



写真2 メークイン



写真3 赤いも



写真4 出荷準備

【モザイクタイルの紹介】



写真5

職能科で行っている創作活動の1つである「モザイクタイル」についてご紹介いたします。モザイクタイルは、図案の選択、木枠への図案転写、その後両面テープを張り、図案にそってタイルの大きさを調整しながら並べていき(写真5)、最後に石膏を流し入れて作品を完成させます(写真6)。高次脳機能障がいの方へは、手指の巧緻性、判断力や注意力・集中力などの向上を目標とし、

評価や障がい理解へのアプローチを行っています。脊髄障がいの方へは、手指の機能訓練や身体的・精神的耐久性などの向上を目標として、障がい受容や理解へのアプローチとともに、趣味的な活動提供をしています。

実際に取り組まれている方からは、「タイルの大きさを整えるのが難しいけれど、楽しみながらリハビリできるのでいい。」「作品を作って自宅に持ち帰れるのが嬉しい。」などの感想が聞かれています。(増尾 奈緒子)



写真6